



自主

健康

知性



寒河江市立陵西中学校
学校だより
令和6年2月号
文責：校長 井上信宏

能登半島地震 募金活動

1月1日に発生した能登半島地震では、240人以上の方が犠牲となり、4万7千戸以上の住宅が被害にあいました。ライフラインの復旧にも時間がかかっており、1か月以上たった今でも、不自由な生活を強いられている方がたくさんいらっしゃるようです。

このような惨状を受け、生徒会の子どもたちが「自分たちにも何かできることはないか」と考え、募金活動を行うことにしました。生徒会役員が1月26日～2月2日の朝、昇降口で呼びかけを行ったところ、多くの生徒から温かい志が寄せられました。義援金の総額は4万3196円（教職員からの募金も含む）に達し、2月13日（火）に山形新聞寒河江支社に届けました。

募金活動を担当した阿部さんは「皆さんの協力のおかげで、4万円以上の募金を被災地の方々に届けることができました。本当にありがとうございました。被害にあわれた方々が早く元の生活に戻れることを祈っています。」と協力してくれた皆さんに感謝するとともに、みんなが力を合わせることによって、大きな支えになることを実感していました。

ご理解とご協力をいただいた保護者の皆さまに感謝するとともに、被災なされた方が一刻も早く平穏な日常を取り戻せることを心からお祈りいたします。



老人福祉施設に花飾りをプレゼント

2月14日（水）に、3年生がフラワーアレンジメント教室を行いました。「フラワーショップ花寿美」の後藤さんと大泉さんにご来校いただき、丁寧にご指導いただきました。後藤さん、大泉さん、本当にありがとうございました。

また、フラワーアレンジメント教室でつくった花飾りを、3年生の代表生徒が、地区内の老人福祉施設「しらいわ」「笑和感」「醍醐」「なごみ」「花」に届けました。花飾りを受け取ってくださった方からは、「とてもきれい。ありがとうございます。」と感謝のことばをいただきました。今後も感染症対策をしながら、老人福祉施設の方々との交流を広げていきたいと考えています。ご対応いただいた皆さん、誠にありがとうございました。



教育後援会の会費について

寒河江市は、令和5年12月に「寒河江市学校施設整備計画（改訂版）」を策定し、令和12年4月から中学校を1校に統合する方向で検討しているようです。これを受けて本校では、陵西中学校教育後援会の会費について検討してきました。

本校ではこれまで、地域の皆さまから500円の会費を頂戴し、生徒活動奨励費や環境緑化整備費として活用させていただくとともに、毎年50万円を東北・全国大会等生徒派遣費として積み立ててきました。しかし、これまで通り50万円ずつ積み立てていくと、一つの部が、毎年、東北大会と全国大会に出場したとしても、令和11年度末には300万円以上のお金が残ることが分かりました。

そこで、令和5年6月に行われた教育後援会評議員会（総会）において、今後の会費徴収について相談した結果、令和6年度からは会費を徴収せず、積み立ててきた東北・全国大会等生徒派遣費（現在3,173,623円の残高）を活用し、教育後援会の事業を継続していくことになりました。具体的な運用方法や事業内容等については令和6年度の教育後援会評議員会（総会）でご協議いただく予定です。

地域の皆さまには、これまで、本校発展と教育振興のために、多大なるご協力をいただき、心より感謝申し上げます。令和6年度からは教育後援会の会費をいただかないこととなりますが、これまで同様、地域とともにある学校、地域が誇れる学校になるよう、鋭意努力して参りますので、今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



これからの部活動の在り方について

昨年度の学校だよりでもお伝えしたように、文部科学省では「部活動改革」を推進しており、令和8年度から休日の部活動は行わないことを目標としています。これを受けて寒河江市では、部活動改革検討委員会を立ち上げ、地域との連携等について検討してきました。その結果、次のように進めていくことになりましたのでお知らせします。

- (1) 令和5年度から部活動への加入を任意とする。
- (2) 部員数の減少に対応するため、合同部活動の取り組みや部活動数の精選を行う。
- (3) 平日の部活動を火曜日、水曜日、金曜日のみとする。
- (4) 休日等の部活動を段階的に縮減する。
 - ① 令和5年7月から、月に1回以上、土日の部活動を休みとする。
 - ② 令和6年7月から、月に2回以上、土日の部活動を休みとする。
 - ③ 令和7年7月から、休日の部活動は行わない。
- (5) 休日等に、生徒が自分で選んで活動できる環境を整備する。
 - ① 学校の部活動と同じ競技や文化活動をしたい人は…
設立される(されている)「地域クラブ」や既存のスポーツクラブ、スポーツ少年団などに加入して活動する。
 - ② 部活動と違う活動(他のスポーツや文化芸術活動、ボランティア等)をしたい人は…
市からの広報や各種団体及びクラブ等からの案内を参考に加入する。
(今後、教育委員会や学校から情報を提供することも考えています。)
- (6) 「寒河江市における部活動改革ガイドライン」を作成するとともに、
今後、寒河江市における地域クラブの要件について検討する。

詳細については寒河江市のホームページ（右のQRコード）をご覧ください。



【高めたい力】を検討しています

本校では、令和3年度から3年間、『論理的に思考し表現する力』『見通しを持ってたくましく取り組む力』『目的を持って発信する力』を【育成をめざす資質・能力】として定め、生徒の資質・能力を高めようと努めてきました。

その結果、「話を聞いて相手の考えを理解したり、文章を読んで内容を把握したりすることができる。」「自分の考えや意見をつぶやいたり、図や文章に表したりすることができる。」という項目については概ね達成できましたが、「困難に直面したり、思い通りにならなかったりした時に、あきらめなくて粘り強く取り組むことができる。」や「自分の考えや意見を相手に分かりやすく伝えることができる。」という項目については十分とは言えなかったようです。（教職員の自己評価より）

そこで、全教職員が【めざす姿】を共有し、全ての教育活動を通して生徒の資質・能力を育んでいきたいと考え、「育成をめざす資質・能力」を見直すことにしました。特に、今の陵西中生の良いところや課題と思われるところを分析した上で、課題と思われる点に重点的に取り組むために、次のような【高めたい力】を設定したいと考えています。



【高めたい力】と『めざす姿』の例

（１）自ら考え、決め、表現する力

- ① 課題を主体的に捉え、自分の考えを持つことができる。
- ② 様々な解決方法や情報の中から適切なものを選ぶ(決める)ことができる。
- ③ 根拠や理由を示しながら、自分の考えを分かりやすく伝えることができる。

（２）互いに関わり合う力

- ① 自分から分からないところを友達や先生にきくことができる。
- ② 自分から「おはよう」と声をかけることができる。
- ③ 他校と交流し、自分たちの活動をより良いものにすることができる。

（３）粘り強く取り組む力

- ① 解決方法を考え、試行錯誤しながら粘り強く取り組むことができる。
- ② 失敗してもあきらめなくて、何度でも挑戦することができる。
- ③ 互いに励まし合いながら、最後までやり通すことができる。

2月27日（火）に行われる第4回学校運営協議会で、この『高めたい力』について話し合っていていただく予定です。皆さまからのご意見がありましたら、陵西中学校（83-2020）または学校運営協議会の委員までお知らせください。

入賞おめでとうございます

校内書き初め展入賞者

【金 賞】	1年	布川さん	山崎さん	
	2年	阿部さん	加藤さん	
	3年	高橋さん	小林さん	
【銀 賞】	1年	岩井さん	國井さん	
		鈴木さん	布川さん	
	2年	佐藤さん	真木さん	
		菊地さん	真木さん	
	3年	荒木さん	鈴木さん	
		大沼さん	佐藤さん	
【銅 賞】	1年	木村さん	武田さん	藤倉さん
		渡邊さん	渡邊さん	
	2年	菊地さん	鈴木さん	近松さん
		佐藤さん	高橋さん	真木さん
	3年	大沼さん	木村さん	高橋さん
		伊藤さん	鈴木さん	田中さん



第50回村山地区アンサンブルコンテスト

【銅 賞】 陵西中学校吹奏楽部 管打八重奏

仙台・山形中学バレーボール交流大会

【準優勝】 女子バレーボール部

【優秀選手賞】 真木さん

寒河江市市民卓球大会 中学1年女子シングルス

【優 勝】 渡邊さん



(吹奏楽部定期演奏会より)

山形県中学校体育スポーツ優秀選手指定

バレーボール 工藤さん

全国読書感想画コンクール山形県審査

【入 選】 高橋さん

第74回山形県文集コンクール

【最優秀】 しらね葵 (陵西中学校)

第22回つるり里芋体験農業・記録大会

葉の大きさ・草丈コンテストの部

【優秀賞】 陵西中学校

第27回「俳句の里」山梨県笛吹市 全国小学生・中学生俳句会

【入 選】 菊池さん 「地区総体 前を向く今 虹が見え」
奥山さん 「紅一点 目に飛び込むや 冬牡丹」